

米工通信 第368号 令和7年6月10日 鳥取県立米子工業高等学校

要門高校生は、家庭で資格試験の勉強を頑張っています**。**



資格試験を活かす



県教育委員会では毎年高校生にアンケート調査を行っています。アンケートの結果、専門高校生の家庭での学習時間が少ないことがわかりました。

みなさんはどうですか。本当に家では勉強しないのですか。 朝読書の後、電気工事士の勉強をしている電気科の生徒に尋ねると、家から2時間ほど資格試験の勉強をしていると答えてくれました。みなさんは学校の授業で出された宿題や予習復習だけを家庭学習時間と考えていませんか。資格試験の勉強やプログラミング、デザインを描くなど直接授業とは関係がなくても、能力を高めることに取り組んでいるなら家庭学習の時間です。それなら家庭学習の時間は0分ではないという声が聞こえてきそうですね。 1学期の資格試験・検定試験の予定

6月13日(金)機械製図検定(一次)

6月15日(日)危険物取扱者

6月20日(金)計算技術検定

6月27日(金)情報技術検定

7月 5日(土)機械製図検定(二次)

7月 5日(土) 第一種電気工事士(技能)

7月11日(金)パソコン利用技術検定

7月11日(金)初級CAD検定

7月19日(土)・20日(日)

第二種電気工事士(技能)

もしも本当に家庭学習時間が0分という人は、何かの資格や検定に挑戦してください。みなさんは社会に出てからも必要な資格を取り続けることでしょう。就職してからは勤務時間外に資格取得の勉強をすることになります。今、家庭で学習する習慣をつけておくことが、就職後も自主的に学ぶ習慣づくりになります。

高齢化と労働人口の減少で、これからは養い特質働くことが予想されています。そのためには、できることを増やしていかないといけないのです。今できることがいつまでも通用するとは思えません。首動化されたら労働者は不要になります。でも、そのシステムを作る人やメインテナンスする人は新たに必要です。それさえAIがやってしまうかもしれません。

これからは学び直すことが必要です。資格試験に挑戦する経験を活かして、主体的に学ぶ習慣を勇につけましょう。学校の授業は学ぶための基礎力になっています。だからこそ家庭での授業

できょう まつかわ あきょし 校長 松川 明義

00000 00000 00000 00000 00000 00000

ぎょうじょてい 【 行 事予定】

11日(水):人権教育講演会(1年)、人権教育LHR(2・3年)、眼科検診

12日(木): 球技大会

13日(金):内科検診(1年)、機械製図検定(一次)

しゅうまつ たいかい きゅうどう ぶ でんしかいろくみたてぶもんちゅうごくち くたいかい 週末の大会 弓道部、ものづくりコンテスト電子回路組立部門中国地区大会



べいこう 米 エHP